

2021（令和3）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
みどりの森

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①地域の資源を活用しコロナ対策を行いながら、休むことなく通常の運営が行えるよう万全の態勢作りに努める。

②地元企業と関わりながら自主製品の商品作りを行う。また自治会に得意とする事で貢献し、有益な社会資源としての関係を築く。

③地元の畑で一連の農作業を体験し、学ぶ。

④健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

⑤現在企業就労している人の支援と共に、希望者に企業実習、短時間就労等の社会参加の機会を提供する。

⑥みどりの森の移転について、施設としてできる事を行う。

（3）中期目標（令和2年度～令和3年度）

施設の特色としての、グリーンバンド、自主製品、畑作業をそれぞれ充実させていく。

また、みどりの森の移転について、できる範囲で協力していく。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 31名（利用者数34名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 延床面積 178.86㎡

建物構造 鉄骨造（地上2階1階使用）

賃貸区分 （土地）民間賃貸 （建物）民間賃貸

3. 職員構成

（1）雇用契約あり

職 種	配置人数
-----	------

管理者	1名
サービス管理責任者	1名 ※兼務
支援員 (常勤職員)	4名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	8名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	3名 ※1名兼務
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合計	16名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (0回/月)	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (0回/月)	0名
合計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	1名	11名	15名	7名	0名	34名
身障手帳	3名	2名	0名	0名	0名	5名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢36.9歳)

令和3年4月1日現在

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	8名	5名	6名	3名	0名	22名
女	0名	4名	4名	3名	0名	1名	12名
合計	0名	12名	9名	9名	3名	1名	34名

最低年齢 男…24歳 女…24歳 最高年齢 男…51歳 女…78歳

平均年齢 男…36.8歳 女…37.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区		合計
32名	1名	1名		34名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	3名	7名	8名	7名	0名	9名	34名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～11:45	作業
11:45～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

(1) 継続した運営と地域との関わり

- ①室内が密にならないよう、コロナ対策として社会福祉センターや自治会館等地域の資源を活用し、休むことなく通常の運営が行えるよう万全の態勢作りに努める。
- ②日常的に地域清掃に努めて得意な事で地域住民に喜ばれるよう取り組む。
- ③給食の食材調達で地域の店舗を利用しながら、地元の特産品や名物に親しむためにデリバリーや買い物等で利用し、消費者としても地域に貢献する。
- ④草取りなど得意な事を作業で請け負う事で地域住民に貢献していく。

(2) 健康・衛生

- ①定期健康診断・歯科検診・インフルエンザワクチン接種・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診（子宮癌）を行い、病期の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる。
- ②感染症予防のため定期的に消毒し衛生環境を整える。アルコール、次亜塩素酸噴霧器、アクリル板使用等、令和2年度に実施したこと以外でも情報把握に努め、できる範囲で対策を講じる。インフルエンザ予防接種も継続し、健康状態を確認して早期に対策、拡散防止に努める。
- ③理学療法士による個々のプログラムの実施等、身体機能の維持向上を図る。
- ④作業開始前に個々の状況に合わせて地域周辺をウォーキング、ストレッチして身体を動かす。

(3) 作業・就労活動

- ①室内が密にならないよう、地域資源の福祉センターや自治会を利用しながら、施設外就労や草取り等の外作業にシフトしていく。
- ②自主製品は、近所の酒蔵や農家など地元との関係を大切にしながら、求められる商品作りを意識する。
- ③現在就労している人が安心して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローして

いく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。

④業者と良好な関係を継続し、安定した工賃収入を得られるようにしながら、現在の利用者の障害特性や年齢に合った作業を改めて選定する。

⑤畑で地域の方々と交流しながら土作りから種まき、草取り、収穫、給食で摂取するまで、一連の農作業を体験して楽しみ、心身の安定を図る。

⑥作業種目

作業種目	内 容
受託事業	DM封入・シール貼り・菓子箱組み立て・箱折り
清掃事業	中央公園清掃・マンション清掃・団地の草取り
自主製品事業	焼き菓子製造、販売
回収等事業	古紙他資源・リサイクル品回収
その他	ミニバザー・出向（梱包、解体）、畑作業
パート、アルバイト	ハーベスト・セイコー物流・白十字ホーム他
実習	セブンイレブン

(4) 給食

①自治会で利用者本人から出た意見をメニューに反映する。

②四季を感じながら楽しく美味しく食べられるよう装飾や演出を行う。

③栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
775Kal	21.2g	110.5g	21.6g	245mg	0.49mg	0.57mg	38mg

(5) 自治会活動

利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化する支援を行なう。また自分の意見が取り上げられるという体験を通し、日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施） ※週替わりとする

種 目	主な活動場所
物づくり	福祉センター会議室
ダンス	みどりの森作業室
買い物・カフェ	イオンモール・イトーヨーカドー

②年間行事予定

	内 容
4月	お花見ウォーキング
5月	
6月	諏訪町Tボール大会 しょうぶまつり出店
7月	防災館体験 日帰りバス旅行1/2
8月	暑気払い 夏期休暇

9月	諏訪町運動会
10月	八国山フリーマーケット 日帰りバス旅行2/2
11月	共催運動会（保護者参加） ふれあいカーニバル 産業祭 豊島屋フェス
12月	クリスマス忘年会 冬期休暇
1月	成人を祝う会（保護者参加） 施設まつり
2月	日帰りバス旅行（保護者参加）
3月	納会（保護者参加）

※グループ別外出（日帰り） 1人1回

7. 防災訓練

（1）防災

防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する他、年に1回防災館でのリアルな防災体験に参加して意識を高める。また災害備蓄食料を使った防災体験も年間計画に盛り込んで実施する。

（2）リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。また毎日乗車前に車両と運転者の状態を確認する。
- ②構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施、定期的な大掃除を行う。
- ③安全運転管理者を中心に職員の運転チェックを年1回程度行い、安全運転への意識を恒常化していく。
- ④令和2年度に実施したコロナ対策をベースに、情報収集を行い、施設に合った対策を実施する。

8. 地域との交流

- ①基本方針で謳った地域の有効な社会資源として、相互利益のある関係を作る。
- ②諏訪町地域懇談会をはじめ、社協他関係団体と連携を図り、コロナ禍でもできる地域貢献をみつけて実施していく。
- ③玄関前に設置した掲示板を活用し、山鳩会やみどりの森の活動、利用者に対する理解を深める。

9. 実習生の受け入れ

- （1）コロナ対策を検討した上で希望があれば特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない将来の進路選択につながる機会を提供する。
- （2）コロナ対策を検討した上で大学からの実習を受け入れ、将来福祉の職場で働く人を増やすよう育成に努める。

10. 父母会、親の会との連携

（1）父母会

- ①保護者会を開いて施設に対する理解を深め、また個別面談（年1回）を通して、相互に情報交換を図る。みどりの森の今後についても随時お知らせしながら協力を得られるようにする。
- ②みどりの森便りを月1回発行し、施設の姿勢や日常の様子を伝えていく。

（2）親の会

行事部会を中心に、双方の連携を図り、円滑に進めていく。

1 1. 職員研修

- ①福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。
- ②研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。
- ③法人全体で定期的に行う交通安全講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。

1 2. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	定例会議
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、個別支援計画
給食会議	1回/月	メニューの要望、振り返り
ケース会議	3回/月	利用者個々の課題について

1 3. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①規定に基づき問題が発生した時は親切丁寧迅速に対応し、問題解決にあたる。
- ②担当窓口及び第三者委員を設置し、丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

- ・規定、個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

(3) 虐待防止

- ・各種機関や研修部会で実施する研修に参加して新たな知識・情報を得ていく。また担当者を設置して利用者の人権を守り、主体性を尊重した支援を行ない、利用者自身にも意識いただけるよう自治会と連動して取り組む。

(4) セクシャルハラスメント防止

- ・男女一人ずつ担当者を設け、防止・対応にあたる。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	柳葉 ひかり	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者(男性)	田中 英史	同上
担当者(女性)	前森 直美	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	小嶋 啓介	同上